

## 採点基準 世界史

- ※ 以下の加点ポイントは目安です(加点ポイントは< >でくくり、得点として+1 を付けている)。実際は個々の答案の状況に応じて採点しています。
- ※ 学習の成果を少しでも拾いたいため、部分点はできるだけ与える方向で採点していますが、実際の入試では同じ扱いとは限りません。完全な答案を目指して、しっかり復習しましょう！

### I 明朝と清朝の統治体制の比較 (配点 20 点)

- ※ 6 行目に入っている答案を採点対象とする。
- ※ 15 行目に入っていない答案は、加点ポイントを満たしていても満点にしない。(以上IIIも同)

#### < 1 共通点 >

##### [官吏任用法]

- ① どちらも科挙を行ったこと…1 点

##### [統治体制]

- ② どちらも中国内地では州県制が採られたこと…1 点
- ③ 官僚制を採用したこと…1 点
- ④ 周辺地域では少数民族の自治が認められたこと…1 点
- ⑤ ④は羈縻政策であること…1 点
- ⑥ 清では理藩院が藩部を監督したこと…1 点
- ⑦ どちらも一世一元の制を採用したこと…1 点

##### [学問・思想]

- ⑧ 朱子学が官学とされたこと…1 点
- ⑨ 事典類の大編纂を行ったこと…1 点

##### [周辺諸国との関係]

- ⑩ 冊封体制が採られたこと…1 点
- ⑪ 管理貿易制度であったこと…1 点
- ⑫ どちらも海禁を行ったこと…1 点

#### < 2 相違点 >

##### [支配民族]

- ① 明は漢民族主体の民族王朝であること…1 点
- ② 清は満州人(女真)による異民族支配であったこと…1 点
- ③ 清では満漢併用制が用いられたこと…1 点
- ④ 清では漢民族に対する弾圧が行われたこと…1 点
- ⑤ ④の具体例: 文字の獄, 禁書…どちらかで1 点
- ⑥ : 辮髪(べんぱつ)の強制…1 点

##### [軍制]

- ⑦ 明は衛所制が採られたこと…1 点
- ⑧ 清は満州由来の八旗が組織されたこと…1 点
- ⑨ 清では漢人主体の緑営が組織されたこと…1 点

[税制]

⑩ 明は兩税法を継承したこと…1点

※明で一条鞭法を示した場合は不可 (※一条鞭法の制定は明後期の16世紀に開始されたため)

⑪ ⑩は原則銭納であったこと…1点

⑫ 清の初期には一条鞭法を継承していたこと…1点

⑬ ⑫は銀納であったこと…1点

※「地丁銀」は加点しない (※18世紀初めに開始されたため)

[周辺諸国との関係]

⑭ 清ではロシアと国境が策定されたこと…1点

※「ロシアとネルチンスク条約を結んだ」なども可

<3 論理構成点> =上記加点ポイントの他に、論理展開を意識している答案に与えるプラスアルファの点。論述問題の解答は、単に歴史用語をつなげればよいというわけではないことを受験者に理解してほしいために設けている。解答欄の右上欄外に、+1または+2を付けている。加点されない場合は数字なし。Ⅲも同)

① <1>・<2>がバランスよく書けていること…1点

② 相違点について、各項目で明朝と清朝それぞれに言及していること…1点

Ⅱ A パンジャーブ地方における宗教の共生と衝突 B 朝鮮半島の内政変革と近代化 (配点 30点)

※ 漢字の誤りは不可

※ ひらがな表記は不可

※ b音をv音で表記しているものは不可

※ 空欄の後の語句を入れてしまった場合は許容 (以上Ⅳも同)

A

(5) グール朝 可

(13) 1点満点

① 委員会にインド人が含まれなかったため…1点

※「委員がすべてイギリス人であったため」なども可

B

Ⅱc 李太王 不可 ※韓国併合後の称号のため

(15) ホンギョンネの乱 可

(16) ヤンバン 可

(20)(イ) 李=伊藤条約可

Ⅲ ヴェルサイユ体制の成立から崩壊まで (配点 20点)

<1 ヴェルサイユ条約におけるドイツ制裁条項>

① パリ講和会議の結果、ドイツとヴェルサイユ条約が結ばれたこと…1点

② 全海外領土(海外植民地)の放棄…1点

③ 軍備制限…1点

※「徴兵制禁止」「兵力限定」「大型軍艦建造禁止」「空軍の禁止」など具体例も可

④ ラインラントの非武装化…1点

⑤ 賠償金の支払い…1点

⑥ アルザス・ロレーヌをフランスに返還…2点

※「アルザスなど」「ロレーヌなど」は1点

⑦ ポーランド回廊をポーランドへ割譲…1点

⑧ オーストリアとの合併禁止…1点

## <2 1920年代のドイツと国際関係>

① ルール占領を受けたこと…1点

② ①でフランスがベルギーを誘ったこと…1点

③ ①はドイツの賠償金支払い不履行が理由であること…1点

※「①に対してドイツはサボタージュを行った」ことを述べても可

④ ドイツはインフレーションに陥ったこと…1点

⑤ ドイツは履行政策に転換したこと…1点

※「ドーズ案を受け入れた」なども可

⑥ ドイツはロカルノ条約に調印したこと…1点

⑦ ⑥でドイツは国際連盟に加盟したこと…1点

⑧ ドイツは不戦条約（ブリアン・ケロッグ条約）に調印したこと…1点

⑨ 1920年代が相対的安定期（国際協調期）であったこと…1点

## <3 1930年代のドイツと国際関係>

① 世界恐慌の影響を受けたこと…1点

② ①で経済的混乱・政治的危機を迎えたこと…1点

③ ナチ党（ナチス）が台頭したこと…1点

④ ③の指導者がヒトラーであったこと…1点

⑤ 国際連盟を脱退したこと…1点

⑥ ⑤は軍事平等権が認められないことから行ったこと…1点

⑦ ザール地方を編入したこと…1点

⑧ 再軍備宣言を行ったこと…1点

⑨ ⑧でヴェルサイユ条約を破棄したこと…1点

⑩ ラインラント進駐を行ったこと…1点

⑪ ⑩でロカルノ条約を破棄したこと…1点

## <4 論理構成点>（解答欄の右上欄外に、1または2を付ける。論理構成点を加点できない場合は数字なし）

① <1>のヴェルサイユ条約の内容が3つ以上書けていること

② 1920年代の国際協調→1930年代のヴェルサイユ体制崩壊の流れが明記されていること…1点

## Ⅳ A バルカン半島史 B 19世紀のドイツ・ロシア関係史（配点 30点）

A

### (5) 1点満点

① 第1回ポエニ戦争に勝利してシチリア島を属州としたこと…1点

※「ポエニ戦争」は可、第2・3回は不可

B

(14) **2点満点**

① 地域：エルベ川以東…1点

② 内容：西ヨーロッパへの輸出用穀物を生産する農場経営（領主制）…1点

(16) 復古主義 可

(18) フローレンス=ナイティンゲール 可

(19) 第2次シュレスヴィヒ=ホルシュタイン戦争 可

(22) 完答 順不同

(23) **1点満点**

① ブルガリアの領土が縮小され、南下政策が阻止されたため…1点

以上